

平成28年 9月16日



水辺の緑いっぱい作戦

「水辺の緑いっぱい作戦」は平成13年から毎年、三笠市内の小学生と一緒にダム湖岸を緑いっぱいにする事を目的として行っております。今年は9月16日に桂沢ダムの湖岸に「エゾミソハギ」と「タチヤナギ」を三笠小学校の4年生50名と一緒に植樹しました。

この活動では、植物の専門家である北海道科学大学の岡村教授にお越し頂き、木も息をしていること、植樹する「エゾミソハギ」や「タチヤナギ」は水に沈んでも息をすることができ枯れにくいことなどをお話して頂きました。

当日は、天気も良く数多くの苗木を植樹することができました。植樹した苗木は今後、ダム湖岸緑化のための母樹として使われます。



暑い中頑張ってくれました



真剣にお話聞いてます



大きく育ってほしいです



植樹は楽しかったかな